

colt

ネットワークの 進化

さらなる事業拡大に
必要なものとは？



IT部門責任者の役割は、組織のITの日常的な管理にとどまらず、より戦略的なものへと進化しています。CIO、インフラストラクチャ統括者およびネットワーク管理者は、今や事業の成功の鍵となる意思決定を担っており、複雑な選択肢の中から最適なテクノロジーを導入し、事業の成長を助ける必要があります。その選択は、良くも悪くも流れを大きく変える可能性を秘めています。



IT部門にとっては、組織の戦略的目標の最適なサポート方法を決めることが最重要事項です。インフラストラクチャの選択は、イーサネットから、IP、パブリック・インターネットまで多岐にわたり、その選択肢の多さに戸惑ってしまうのも事実です。ただし、現状維持を優先して古い目的のために設計されたソリューションを利用し続けることは避けるべきです。

お客様の目的は、モダナイゼーションやコスト削減、シンプル化、自動化と多岐にわたります。多様化するユーザーの期待に応えながら、厳しさを増す法規制にも対処しなければなりません。デジタル・インフラストラクチャ・パートナー企業各社は煩雑さの克服に奮闘し、最新のテクノロジーを活用しながら、顧客に可能性をもたらすサービスを迅速に提供する方法を模索しています。ESG（環境、社会、ガバナンス）への配慮も今や検討事項の常連です。CIOはオンデマンド型ネットワークのようにESGの取り組みを可能にする包括的なインフラストラクチャを必要としています。オンデマンド型ネットワークとは、仮想ルーターをオーダーすることによりスペースや消費電力を節約したり、事前プロビジョニングにより現場訪問なしにほぼリアルタイムで本稼働させたりすることのできるサービスです。

適切なパートナー選びは、制約があり柔軟性に欠けたテクノロジーから、要件の変化に最も適したデジタル・インフラストラクチャへの舵取りを助けます。以下に示す主要目標をサポートできるパートナーを見つけることが重要です。

モダナイゼーション

業務に欠かせないアプリケーションやサービスをMPLSのような従来型の技術からクラウド移行するにあたって、それを支えるデジタル・インフラストラクチャはストレスのないプロセスを提供しつつ、ESG目標を満たす効率性の高いソリューションが実現できるものである必要があります。

コストの制御

広域ネットワークの保守には高額な費用がかかる可能性が高いため、すべてのパートナーシップをコスト効率で管理できるソリューションを提供するネットワーク・プロバイダーを選ぶ必要があります。

複雑さの解消

多国籍企業は、世界のさまざまな地域で複数のネットワーク・プロバイダーと契約したり、複数のクラウド・プラットフォームの管理が必要になる場合があります。適切なパートナーがいれば、顧客に代わってこれらの関係に対処し、複雑さを最小限に抑えることが可能です。

将来への備え

顧客の需要、高度化を続けるテクノロジーに求められる要件は、絶えず進化し続けています。デジタル・インフラストラクチャは、柔軟かつ適応性のあるアプローチで顧客に最適なサービスを提供でき、かつ近い将来のフル稼働に向けて必要な機能を備えている必要があります。

- 将来のニーズを考えると、ネットワーク・プロバイダーには地理的に広範なリーチが必要でしょうか？
- ビジネスの推進力となる次世代のアプリケーションにとって、持続可能なネットワーク接続は決め手となるでしょうか？
- 信頼性、セキュリティ、俊敏性などの特性はどのように優先されるべきでしょうか？

当社では、クラウドやSD WANの普及に伴い、IPに転換するお客様が増えています。

Coltは2023年11月のLumen EMEAを買収を機に、AS3356ネットワークの共同運営を行うなど、ネットワークカバレッジを拡大し続けています。CAIDAランキング調査では、AS3356は世界で最もピア数の多いネットワークです。フランクフルト、ロンドン、アムステルダム、そしてパリを結ぶ一般的なFLAPルート全体での400ギガビット毎秒のIPトランジットポートの展開により、マルセイユ、オスロ、プラハ、ソフィア、ストックホルム、チューリヒでのこれまでの400Gbps IPポートへの設備投資が補強されることとなります。Coltは今後もグローバルネットワーク投資の一環として、欧州諸都市で新たに広帯域のIPトランジットサービスを開始するなど、ネットワークを成長、拡大し続けます。

詳細はColtの[プレスリリース](#)をお読みください。



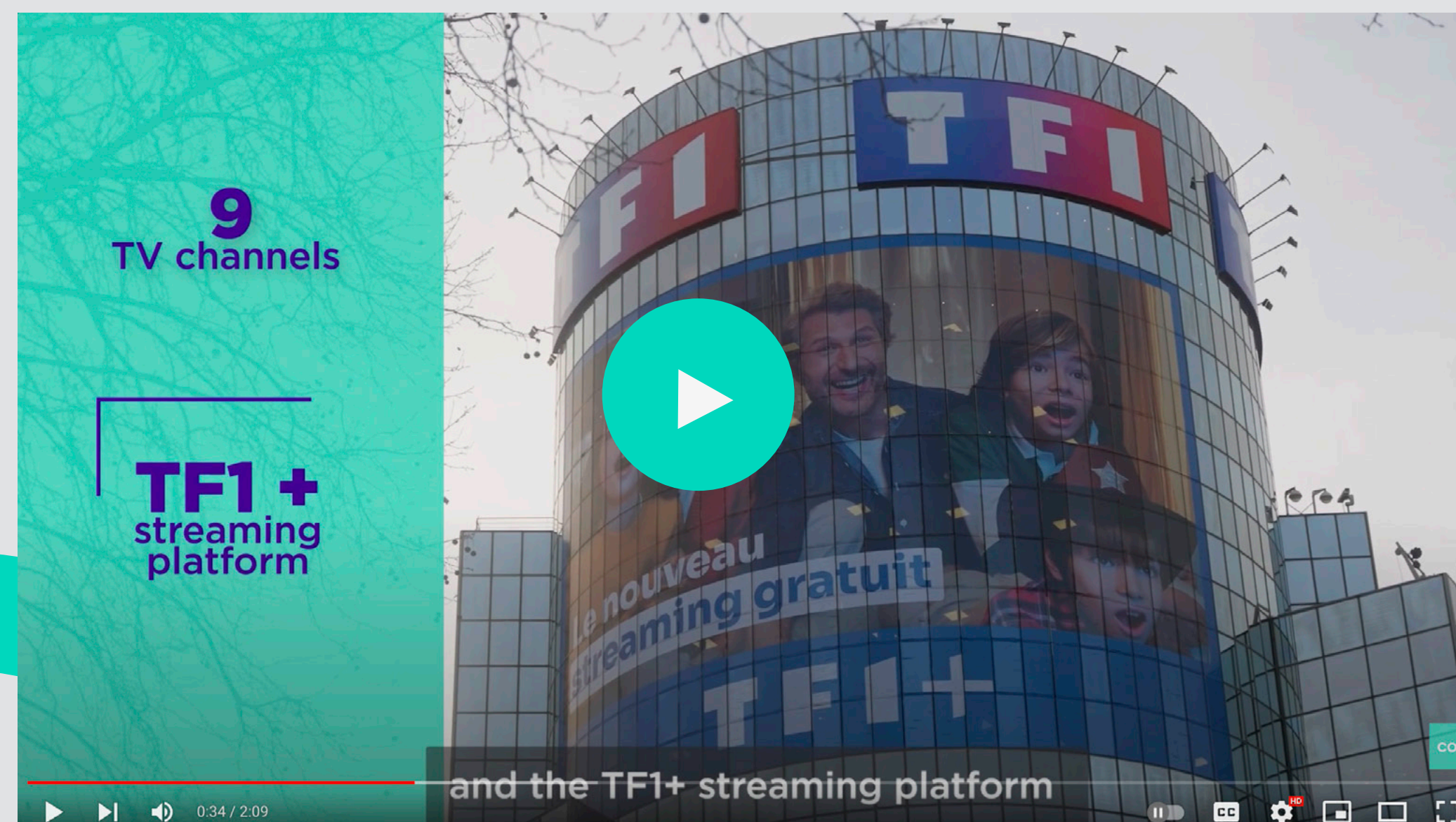
IP化傾向について

このような背景から、技術スタックを構築する基盤としてIPに移行する企業が増えています。この数年でIPはイーサネットなどのさまざまな選択肢に対する強力なライバルとしての地位を確立しつつあり、安全かつ費用対効果に優れていると評するIT意思決定者も増えています。

従来のネットワーク構成の中には1990年代に設計されているものもあり、MPLSのように柔軟性に欠ける技術が使用されていました。俊敏性と柔軟性が求められる今、こうした従来型アプローチでは太刀打ちできません。IPとその関連技術を基盤としたデジタル・インフラストラクチャは、未来を見据えるCIOに、ネットワークが必要とする柔軟性と拡張性をもたらします。そしてインフラストラクチャを守るのが、製品やサービスのデリバリ、クラウド型アプリケーションの運用、リモートワークを支えるSLAなどです。

1935年開局のフランスの民間テレビ局「TF1」は、世界で最も歴史ある放送局の1つに数えられており、多様なチャンネルとオンデマンド・コンテンツで、スポーツ生中継時には約2,000万人の視聴者に利用されています。

TF1は、IP VPNマルチクラウドソリューションのほか、IP Access、ダークファイバー、イーサネットサービスのプロバイダーとして、Coltを選定しました。放送局のネットワークスタックの構築において、視聴者を失望させない信頼できるインフラストラクチャの実現が最も重要でした。詳細はぜひTF1事例(Youtube動画)をご覧ください。



事例紹介動画の閲覧はこちら
[F1 video case study on YouTube.](#)

IPは、従来のネットワークからの移行 および組織のインフラストラクチャの モダナイズにおいて以下を実現します。

SD WANのアンダーレイとして、高信頼性かつ安全で高速な基盤を提供し、SD WANのポテンシャルを最大限に引き出します。SD WANにより、ルーティングとアクセス・ポリシー・ルールの迅速な再構成が可能になるため、ビジネスの生産性の向上につながります。これは旧来のネットワーク標準では不可能です。

また、SD WANは理想的なCloud on-ramp(※SaaSやIaaS環境を利用する際にパフォーマンスと可用性を監視し、最適なネットワークパスを自動的に選択する機能)であり、ユーザーは従来のインフラストラクチャでは考えられないような形でワークロードを複数のプラットフォームに分割できます。たとえば、デジタル・インフラストラクチャ企業は2つのポート間における「最も環境に優しい経路」を提案できるようになりました。モダナイゼーションに向けた動きにより、効果的かつ最も負荷の小さいネットワークを実現できます。

IPサービスに適したネットワーク・プロバイダーを選択することで、コスト管理や運用効率の管理を行いながら、広範なアクセスタイプ、高度なセキュリティオプション、エンタープライズレベルの接続性を実現できます。

最適なネットワーク・パートナーがいれば、どの地域で事業を展開する場合も、複数のローカルプロバイダーとの関係構築にリソースを割く必要がなくなります。サービスプロバイダー独自のネットワーク経由であれ、ローカルパートナー経由であれ、サービスをエンド・ツー・エンドで管理することも重要な要素です。支出をさらに抑えるには、何百ものネットワークと直接トラフィックを交換できるピアリング・インフラストラクチャの提供が必須です。このインフラストラクチャは、ユーザーのネットワークを形成するあらゆるパートナーとの間のアグリゲーターの役割を果たすものであり、長期的に見れば契約コストの節約にもつながります。

優れたIP接続サービスは、CIOに共通する悩みである複雑さを緩和してくれます。

SDN(※ソフトウェア定義ネットワーク)対応のセルフサービス・プラットフォームにより、複雑さを解消し、世界中のデータセンターや商用ビル、およびクラウドサービスプロバイダー間に簡単かつリアルタイムなネットワーク接続を提供します。

CIOは独自のエクスペリエンスを定義し、オンライン注文、手動プロセスの削減、API統合による自動化といったメリットを享受できます。さらにIPは、CIOが組織の中央からネットワークエッジの現状を知るために必要となる可視性も提供します。これには、オンライン・パフォーマンス・レポートのほか、トラフィックの利用率、インターフェースの可用性、および請求データをリアルタイムで把握する手段が含まれます。シンプルさを高めつつ、セキュリティも向上させる必要があります。IPをDDoS対策サービスのような適切なセキュリティ・アドオンと組み合わせることで、人による介入の必要なしに攻撃がフィルタリングされ、正当なトラフィックだけがネットワークを通過できるようになります。

将来を見据えたIP

IPは意思決定者が必要としている、現代のビジネスユースに向けて特別に設計された高パフォーマンスかつ高信頼性のサービスを提供します。IPネットワークサービスは、現代の通信に欠かせない構成要素であり、コラボレーションツールからビデオのストリーミングまで、さまざまなインフラストラクチャやアプリケーションに対応しています。自社のIT戦略の将来性を高め、可能な限り俊敏かつ成長に適したものとするためにはIPは必須といえます。

CIOの役割が「信頼できるIT運営者」から「ビジネス戦略家」へとシフトした今、CIOはネットワークがビジネスを成長させ、変革の目標を妨げないようにする方法を見つけなければなりません。そこで必要となるのが、低遅延かつ強力なセキュリティ、俊敏性、グローバルなエッジ接続性、コスト削減、高速デリバリーを支えるインフラストラクチャです。



ネットワーク・パートナーを 選択する際の着目点

組織の将来にとって戦略的に重要な意思決定を下すためには、プロバイダー選定において以下の点を確認することが重要です。

- ビジネスに必要な帯域幅を提供できる堅牢なグローバルネットワークを有しているか
- 最短経路と高いパフォーマンスを確保できる包括的なピアリング契約を提供しているか
- アップタイム、帯域幅、サポート体制の保証があるSLAを遵守しているか
- 最適なルーティングのための自律システムを効果的に管理しているか
- トラフィックパターンと予算に沿った柔軟な価格モデルを提供しているか
- 二酸化炭素排出量削減を継続的な目標としながら、自社が生み出すソリューションを支えるESG戦略を有しているか

お問い合わせ

本レポートやColtサービスに関する詳細は以下よりお問合せください。

<https://www.colt.net/ja/contact-us/>

営業代表 : 03-4560-7100

メール : asia-sales-online@colt.net